

こども若者県政モニター 令和7年度 第1回アンケート結果



岐阜県広報課管理広聴係



令和7年度 こども若者県政モニター 第1回アンケート調査結果

調査実施の概要

1. アンケート期間 令和7年6月9日(月曜日)から6月27日(金曜日)まで

2. モニター数 400人

3. 回答者数・回答率 回答者数:321名 回答率:80.3%

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

4. 回答者属性

(1)性別

	人数	割合
男性	123	38.3%
女性	192	59.8%
回答しない	6	1.9%
計	321	100.0%

(2)学年別

	人数	割合
小学1年生	26	8.1%
小学2年生	23	7.2%
小学3年生	29	9.0%
小学4年生	29	9.0%
小学5年生	27	8.4%
小学6年生	27	8.4%
中学1年生	29	9.0%
中学2年生	29	9.0%
中学3年生	25	7.8%
高校1年生	23	7.2%
高校2年生	27	8.4%
高校3年生	27	8.4%
計	321	100.0%

(3)年齢別

	人数	割合
6歳	19	5.9%
7歳	28	8.7%
8歳	22	6.9%
9歳	33	10.3%
10歳	29	9.0%
11歳	27	8.4%
12歳	26	8.1%
13歳	33	10.3%
14歳	22	6.9%
15歳	26	8.1%
16歳	23	7.2%
17歳	29	9.0%
18歳	4	1.2%
計	321	100.0%

(3)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	149	46.4%
西濃圏域	55	17.1%
中濃圏域	61	19.0%
東濃圏域	39	12.1%
飛騨圏域	17	5.3%
計	321	100.0%

地球温暖化に関するアンケート

省エネ・再エネ社会推進課

1. アンケート調査の目的

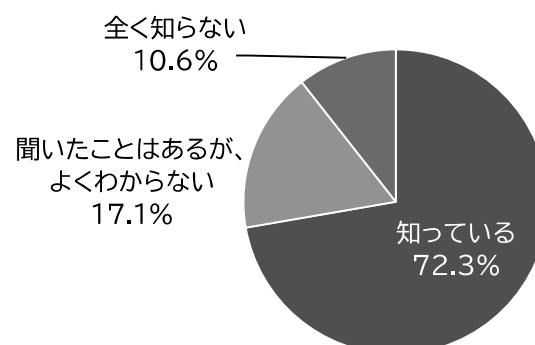
環境学習及び普及啓発に関する施策に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 あなたは、地球の温暖化について知っていましたか。

回答者 321 人

	人数	割合
知っている	232	72.3%
聞いたことはあるが、よくわからない	55	17.1%
全く知らない	34	10.6%
計	321	100.0%

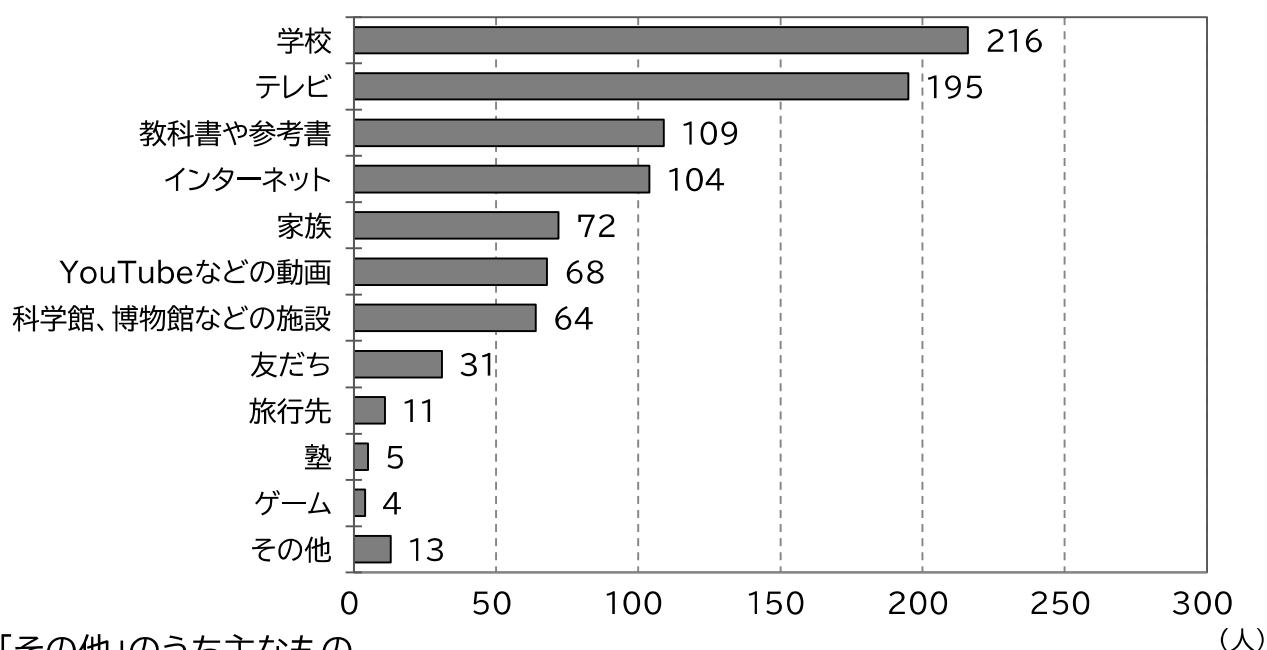


(「知っている」「聞いたことはあるが、よくわからない」と答えた方)

どこで知りましたか。

回答者 287 人 (複数回答)

	回答数	割合
学校	216	75.3%
テレビ	195	67.9%
教科書や参考書	109	38.0%
インターネット	104	36.2%
家族	72	25.1%
YouTubeなどの動画	68	23.7%
科学館、博物館などの施設	64	22.3%
友だち	31	10.8%
旅行先	11	3.8%
塾	5	1.7%
ゲーム	4	1.4%
その他	13	4.5%
計	892	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 図書館の本
- ・ 雑誌や新聞

～結果の概要～

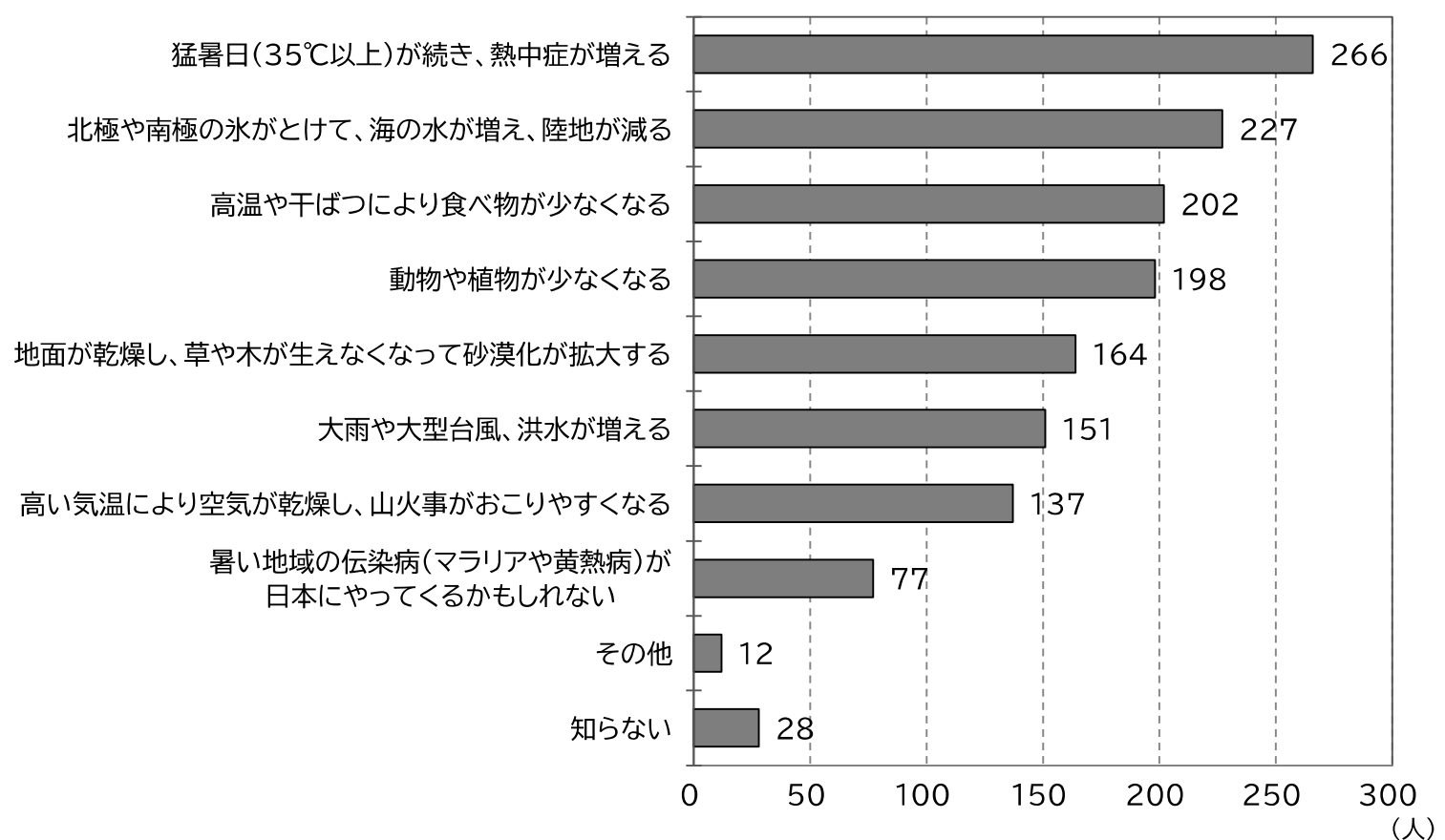
地球温暖化について、全体の89.4%が「知っている」又は「聞いたことはあるがよくわからない」と回答した。

どこで知ったかについては、「学校」が75.3%と最も多く、次いで「テレビ」(67.9%)、「教科書や参考書」(38.0%)、「インターネット」(36.2%)の順となっている。

問2 地球の温暖化による地球環境の変化について知っていることはありますか。

回答者 321 人 (複数回答)

	回答数	割合
猛暑日(35℃以上)が続き、熱中症が増える	266	82.9%
北極や南極の氷がとけて、海の水が増え、陸地が減る (小さな島は海に沈むこともある)	227	70.7%
高温や干ばつにより食べ物が少なくなる (これまで育っていた植物が育たなくなる)	202	62.9%
動物や植物が少なくなる (例: ホッキョクグマは、海の氷がとけて住む場所やエサがなくなり数が減る)	198	61.7%
地面が乾燥し、草や木が生えなくなって砂漠化が拡大する	164	51.1%
大雨や大型台風、洪水が増える	151	47.0%
高い気温により空気が乾燥し、山火事がおこりやすくなる	137	42.7%
暑い地域の伝染病(マラリアや黄熱病)が日本にやってくるかもしれない	77	24.0%
その他	12	3.7%
知らない	28	8.7%
計	1,462	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 地面にヒビがでる
- ・ 平均気温が上がることで本来日本の冬を越せなかった外来種が定着、繁殖してしまう
- ・ 魚の回遊ルートがかわり今までとれていた魚の漁獲量が減ってしまう
- ・ 季節がなくなる

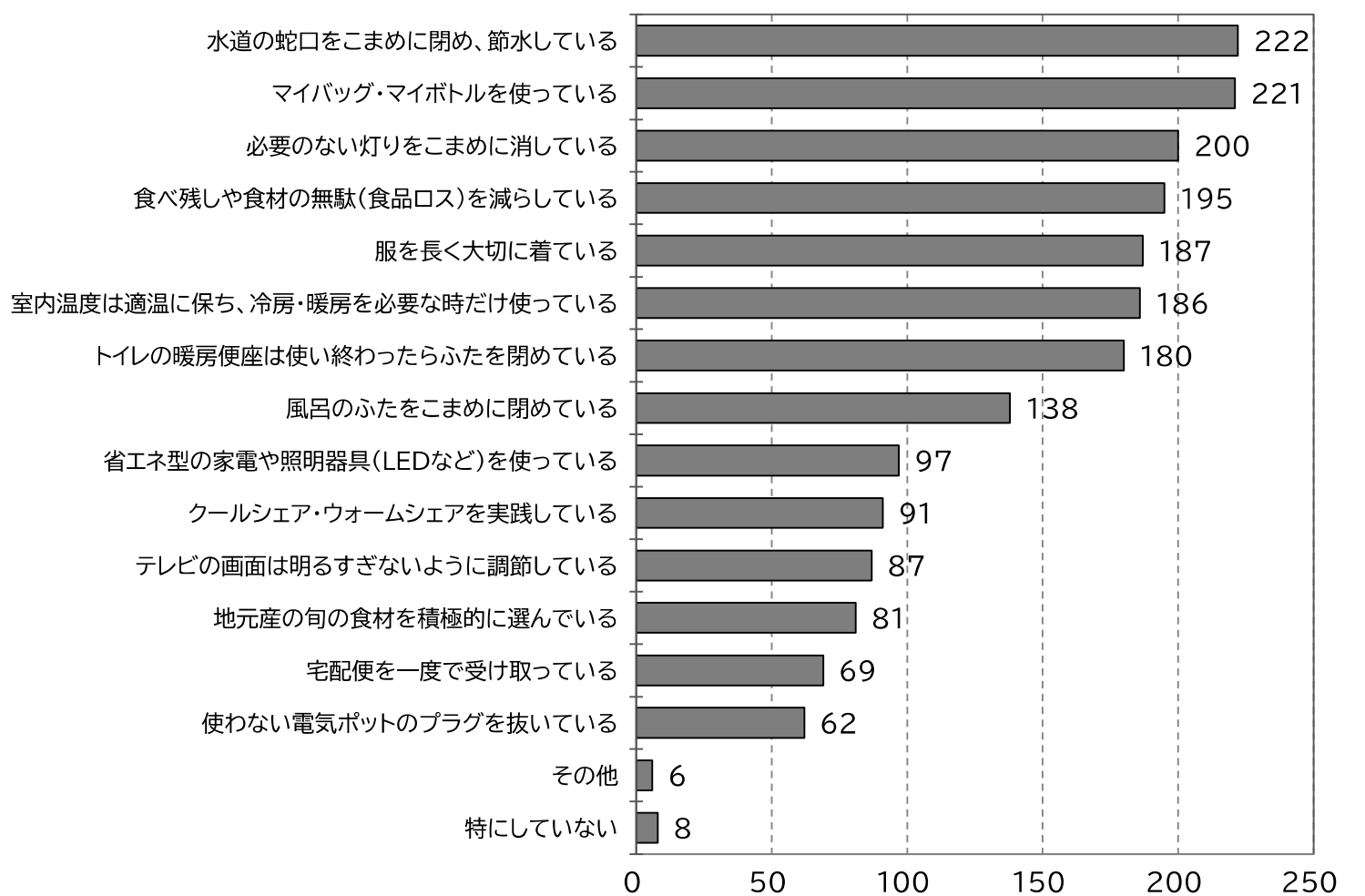
～結果の概要～

全体の91.3%が地球温暖化による環境の変化について知っていると回答した。
その内容については、「猛暑日が続く、熱中症が増える」が82.9%と最も多く、次いで「北極や南極の氷がとけて、海の水が増え、陸地が減る」(70.7%)、「高温や干ばつにより食べ物が少なくなる」(62.9%)、「動物や植物が少なくなる」(61.7%)の順となっている。

問3 あなたは、環境にやさしい行動をしていますか。

回答者 321 人 (複数回答)

	回答数	割合
水道の蛇口をこまめに閉め、節水している	222	69.2%
マイバッグ・マイボトルを使っている	221	68.8%
必要のない灯りをこまめに消している	200	62.3%
食べ残しや食材の無駄(食品ロス)を減らしている	195	60.7%
服を長く大切に着ている	187	58.3%
室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時だけ使っている	186	57.9%
トイレの暖房便座は使い終わったらふたを閉めている	180	56.1%
風呂のふたをこまめに閉めている	138	43.0%
省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使っている	97	30.2%
クールシェア・ウォームシェアを実践している	91	28.3%
テレビの画面は明るすぎないように調節している	87	27.1%
地元産の旬の食材を積極的に選んでいる	81	25.2%
宅配便を一度で受け取っている	69	21.5%
使わない電気ポットのプラグを抜いている	62	19.3%
その他	6	1.9%
特にしていない	8	2.5%
計	2,030	—



「その他」のうち主なもの

- ・ お皿洗いはまとめて一回で洗う
- ・ 冷房時に扇風機を併用し効率的に冷えるようにしている
- ・ CO2削減のために近いところは歩きや自転車を使っている

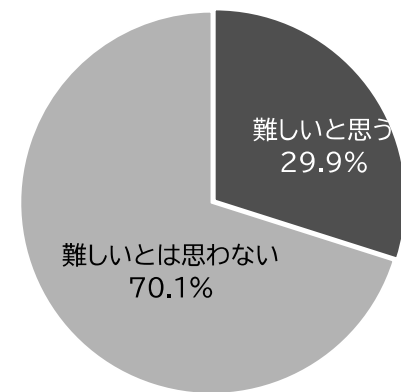
～結果の概要～

全体の97.5%がいずれかの環境にやさしい行動をしていると回答した。
その内容については、「水道の蛇口をこまめに閉め、節水している」が69.2%で最も多く、次いで「マイバッグ・マイボトルを使っている」(68.8%)、「必要のない灯りをこまめに消している」(62.3%)、「食べ残しや食材の無駄を減らしている」(60.7%)の順となっている。

問4 あなたは、環境にやさしい行動について、どう感じていますか。

回答者 321 人

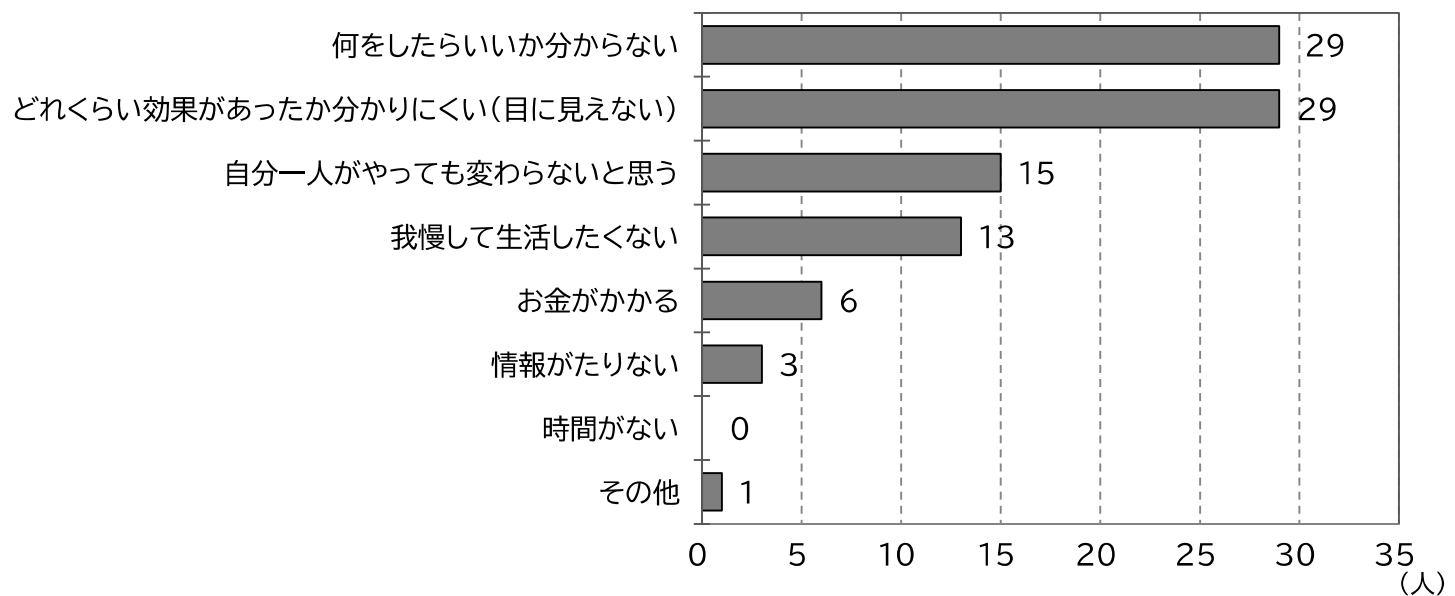
	人数	割合
難しいと思う	96	29.9%
難しいとは思わない	225	70.1%
計	321	100.0%



(「難しいと思う」と答えた方)

「難しいと思う」理由を1つ選んでください。 回答者 96 人

	回答数	割合
何をしたらいいかわからない	29	30.2%
どれくらい効果があったかわかりにくい(目に見えない)	29	30.2%
自分一人がやっても変わらないと思う	15	15.6%
我慢して生活したくない	13	13.5%
お金がかかる	6	6.3%
情報がたりない	3	3.1%
時間がない	0	0.0%
その他	1	1.0%
計	96	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・トイレやお風呂の蓋を毎回閉めるのが面倒くさいから

～結果の概要～

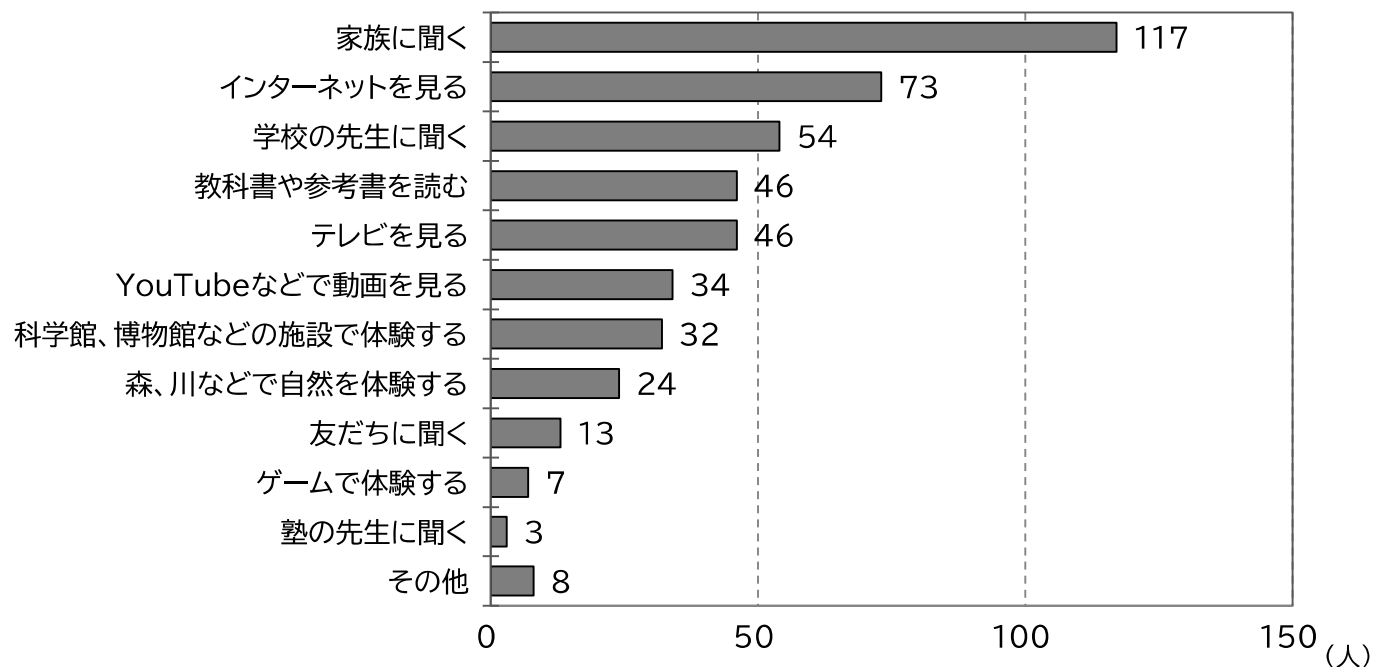
環境にやさしい行動について、全体の29.9%が「難しいと思う」と回答した。「難しいと思う」理由については、「何をしたらいいかわからない」と「どれくらい効果があったかわかりにくい」が30.2%で最も多く、「自分一人がやっても変わらないと思う」(15.6%)、「我慢して生活したくない」(13.5%)の順となっている。

問5 【小学生】

あなたが地球の温暖化について知りたいと思ったとき、どのような方法で調べますか。

回答者 161 人 （複数回答）

	人数	割合
家族に聞く	117	72.7%
インターネットを見る	73	45.3%
学校の先生に聞く	54	33.5%
教科書や参考書を読む	46	28.6%
テレビを見る	46	28.6%
YouTubeなどで動画を見る	34	21.1%
科学館、博物館などの施設で体験する	32	19.9%
森、川などで自然を体験する	24	14.9%
友だちに聞く	13	8.1%
ゲームで体験する	7	4.3%
塾の先生に聞く	3	1.9%
その他	8	5.0%
計	457	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 図鑑や本
- ・ 図書館
- ・ スマホでしらべてもらう

～結果の概要～

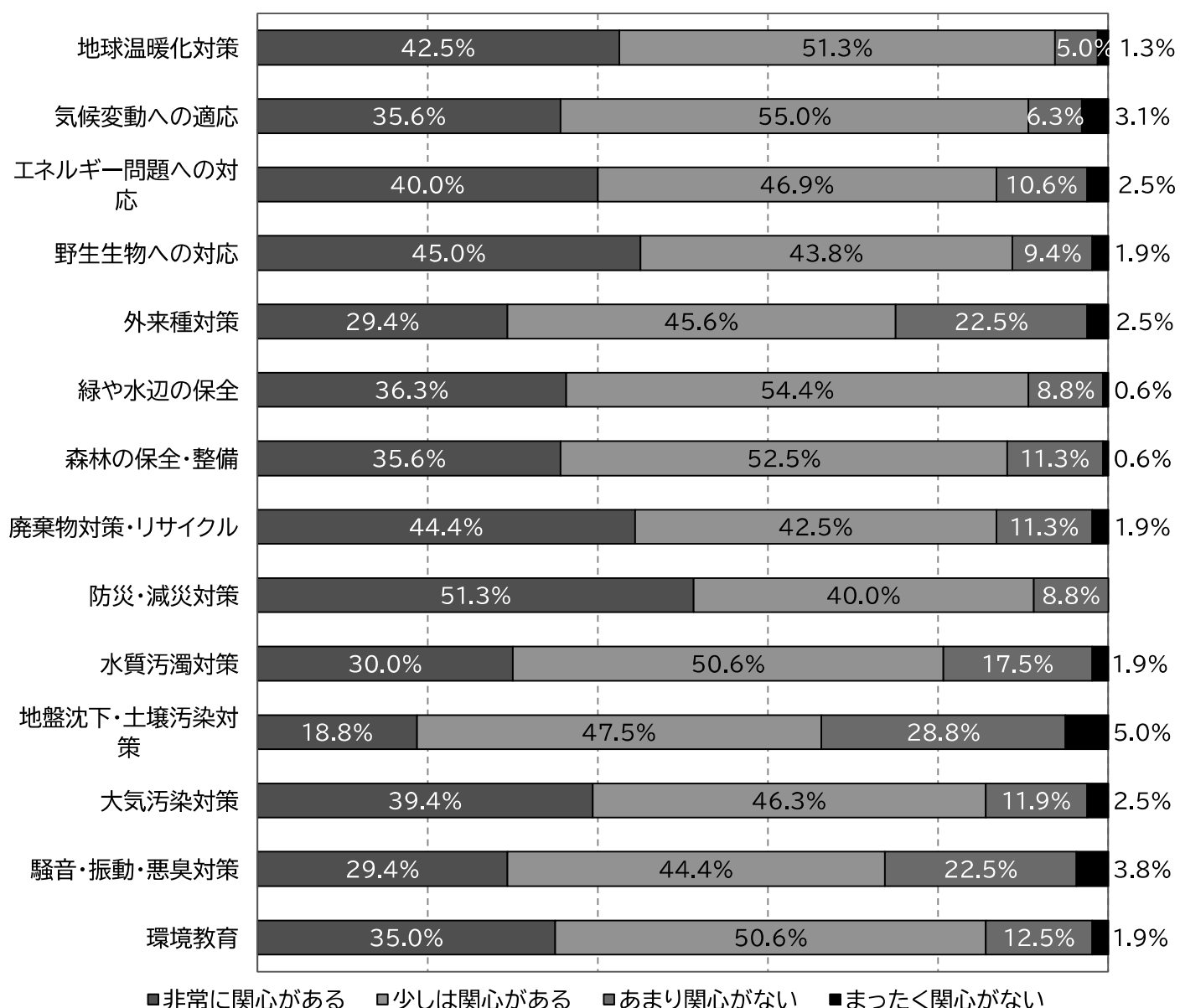
地球温暖化について調べる方法について、「家族に聞く」が72.7%で最も多く、次いで「インターネットを見る」(45.3%)、「学校の先生に聞く」(33.5%)、「教科書や参考書を読む」及び「テレビを見る」(28.6%)の順となっている。

問5 【中学生・高校生】

あなたは、地球温暖化など環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。

回答者 160 人

	非常に 関心がある		少しは 関心がある		あまり 関心がない		まったく 関心がない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 地球温暖化対策	68	42.5%	82	51.3%	8	5.0%	2	1.3%	160	100%
2 気候変動への適応	57	35.6%	88	55.0%	10	6.3%	5	3.1%	160	100%
3 エネルギー問題への対応	64	40.0%	75	46.9%	17	10.6%	4	2.5%	160	100%
4 野生生物への対応	72	45.0%	70	43.8%	15	9.4%	3	1.9%	160	100%
5 外来種対策	47	29.4%	73	45.6%	36	22.5%	4	2.5%	160	100%
6 緑や水辺の保全	58	36.3%	87	54.4%	14	8.8%	1	0.6%	160	100%
7 森林の保全・整備	57	35.6%	84	52.5%	18	11.3%	1	0.6%	160	100%
8 廃棄物対策・リサイクル	71	44.4%	68	42.5%	18	11.3%	3	1.9%	160	100%
9 防災・減災対策	82	51.3%	64	40.0%	14	8.8%	0	0.0%	160	100%
10 水質汚濁対策	48	30.0%	81	50.6%	28	17.5%	3	1.9%	160	100%
11 地盤沈下・土壌汚染対策	30	18.8%	76	47.5%	46	28.8%	8	5.0%	160	100%
12 大気汚染対策	63	39.4%	74	46.3%	19	11.9%	4	2.5%	160	100%
13 騒音・振動・悪臭対策	47	29.4%	71	44.4%	36	22.5%	6	3.8%	160	100%
14 環境教育	56	35.0%	81	50.6%	20	12.5%	3	1.9%	160	100%



～結果の概要～

「非常に関心がある」又は「少しは関心がある」と回答した人の割合は、「地球温暖化対策」が93.8%で最も高く、次いで、「防災・減災対策」(91.3%)、「気候変動への適応」及び「緑の水辺の保全」(90.6%)の順となっている。

問6 地球の温暖化についての意見や、地球の温暖化を止めるためのアイデアがあれば教えてください。

- ・ 1世帯につき、二酸化炭素の吸収量が多くて成長が早い植物を1つ植えてもらう。
- ・ 地球温暖化を防ぐための呼びかけやポスターを張ったりすると良いと思います。
- ・ 街の中にも緑を増やす。
- ・ 水や電気を使って遊ぶ道具やおもちゃは楽しいけど、なるべく水や電気を使わず外で遊ぶ。
- ・ できるだけ車で送ってもらわず、歩いたり、自転車に乗ったりする。
- ・ みんながちょっとずつ気をつけてやっていけば、地球温暖化を治せると思う。今、私も気をつけています。
- ・ 私は、パークアンドライドを促進することを提案します。岐阜バスと連携して、これまでよりもバスの運行本数を多くし、また、バス停の近くに駐輪場を設置すると良いのではないかと考えます。
- ・ ゴミを減らすと燃やす無駄なエネルギーが減るから、食べ残しを減らしたりゴミを減らしたりすればいいとおもう。
- ・ 原因をもっと突き詰めることが大事だと思う。
- ・ 一人一人が自分だけ良ければいいと思わないで、他人や他のものへの思いやりをもって行動すること。
- ・ 地球を休める日というのを世界中で作って、この日だけは二酸化炭素をあまり排出しないようにしたり、エシカルな行動をする。
- ・ 車全体をソーラーパネルで作った自動車。理由は、全体をソーラーパネルにする事で、晴れの日、運転しながら車も充電できる、いわゆる一石二鳥だと思ったからです。
- ・ 発電時の環境への負荷を抑制するため再生可能エネルギーの比重を高めるべきだと思う。岐阜県の自然環境を生かし、水力での発電量を増やしてほしい。また、環境負荷を小さくするという観点から小水力発電の普及も進めるとよいと思う。
- ・ 今世界で起きている出来事を身近に感じられるような学校教育をするといいと思う。世界で起きている問題に加えて、自分にどう影響するのかを知れたらより興味がわくと思う。

地域学校協働活動に関するアンケート

県民生活課

1. アンケート調査の目的

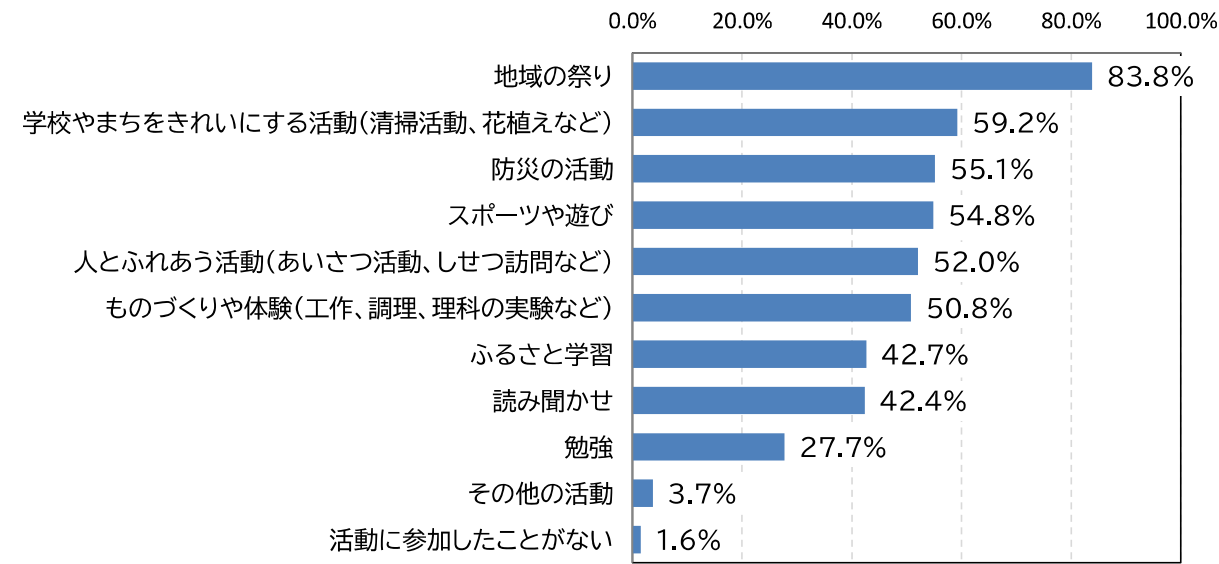
地域学校協働活動に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 あなたはこれまでに学校の中や外で地域の人と一緒にどんな活動をしたことがありますか。

回答者 321 人 （複数回答）

	回答数	割合
地域の祭り	269	83.8%
学校やまちをきれいにする活動(清掃活動、花植えなど)	190	59.2%
防災の活動	177	55.1%
スポーツや遊び	176	54.8%
人とふれあう活動(あいさつ活動、しせつ訪問など)	167	52.0%
ものづくりや体験(工作、調理、理科の実験など)	163	50.8%
ふるさと学習	137	42.7%
読み聞かせ	136	42.4%
勉強	89	27.7%
その他の活動	12	3.7%
活動に参加したことがない	5	1.6%



「その他」のうち主なもの

・伝統文化教室 ・ボランティア ・敬老会

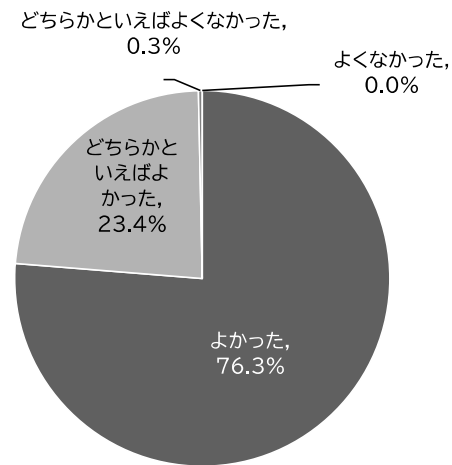
～結果の概要～

- ・全体の98.4%の児童生徒が何らかの活動に参加していると回答している。ほとんどの児童生徒が地域の人と関わったことがある。
- ・参加した活動としては、全体の83.8%の児童生徒が「地域の祭り」に参加したことがあると答え、最も多い。次いで、「学校やまちをきれいにする活動(清掃活動、花植えなど)」、「防災の活動」と続き、学校や地域に貢献する活動にも多くの児童生徒が参加している。

問2 活動に参加したことがある人は、参加してみてよかったと思いましたが？

回答者 316 人

	人数	割合
よかった	241	76.3%
どちらかといえばよかった	74	23.4%
どちらかといえばよくなかった	1	0.3%
よくなかった	0	0.0%
計	316	100.0%

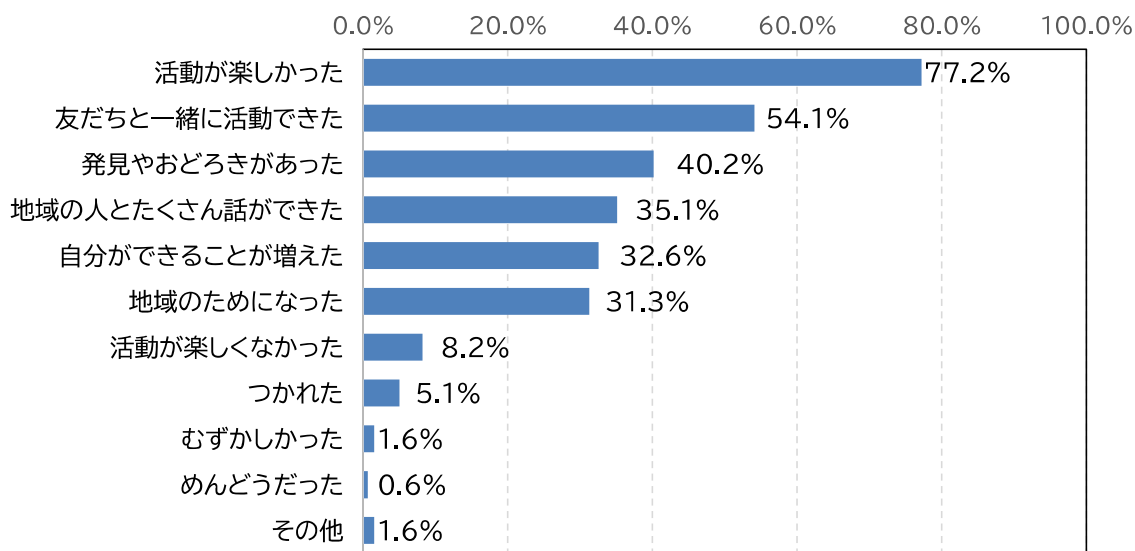


～結果の概要～
・「よかった」との回答が76.3%で、「どちらかといえばよくなかった」との回答を合わせると99.7%であり、ほとんどの児童生徒が活動への参加を肯定的に捉えている。地域の人と活動することは、児童生徒にとって良い経験となっていると考えられる。

問3 問2で選んだ理由はなぜですか？

回答者 316 人 （複数回答）

	回答数	割合
活動が楽しかった	244	77.2%
友だちと一緒に活動できた	171	54.1%
発見やおどろきがあった	127	40.2%
地域の人とたくさん話げできた	111	35.1%
自分ができることが増えた	103	32.6%
地域のためになった	99	31.3%
活動が楽しくなかった	26	8.2%
つかれた	16	5.1%
むずかしかった	5	1.6%
めんどろだった	2	0.6%
その他	5	1.6%



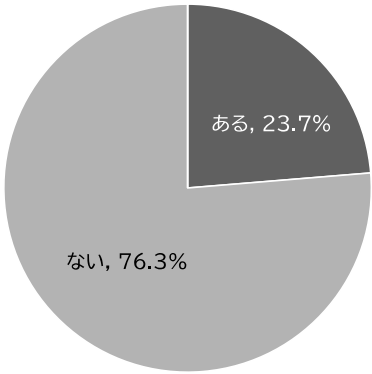
「その他」のうち主なもの
 ・景品が貰えたから。 ・普段会えない人に会えるから。 ・和むから。

～結果の概要～
 ・参加してよかったと感じている児童生徒の理由として、「仲間と一緒にできる活動」、「発見や驚きといった感動がある活動」が多くあった。こうした活動が特に児童生徒の心に残る活動であり、楽しさの要因にもなっていると考えられる。

問4 地域の人と一緒に考えて活動をつくったり、運営したりしたことはありますか？
 次の中からそれぞれ一つ選んでください。

回答者 321 人

	人数	割合
ある	76	23.7%
ない	245	76.3%
計	321	100.0%

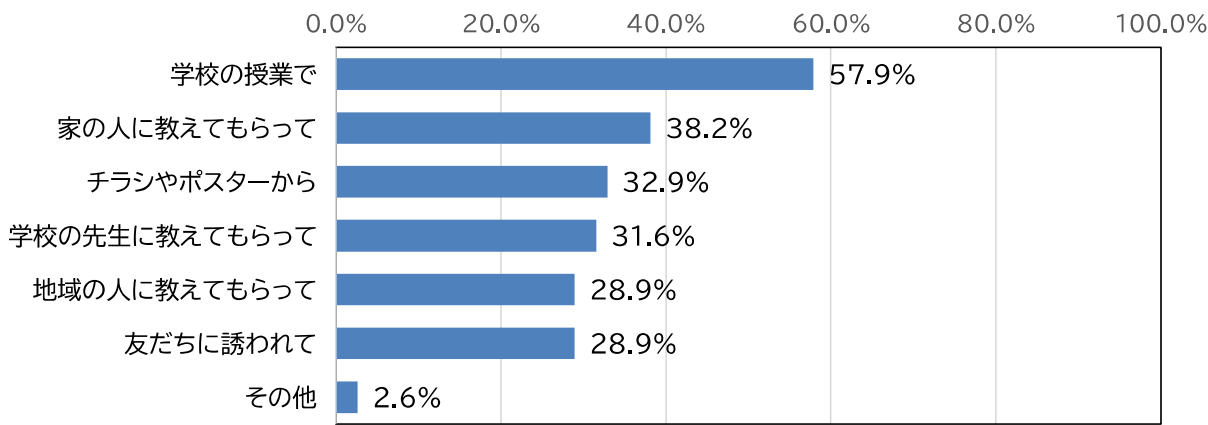


～結果の概要～
 ・全体の76.3%が「ない」と回答しており、地域の人と一緒に活動するに当たって、主体的に行動した経験を持つ児童生徒は少ないと考えられる。

問5 活動をつくったり、運営したきっかけとして当てはまるものをいくつでも選んでください。

回答者 76 人 （複数回答）

	人数	割合
学校の授業で	44	57.9%
家の人に教えてもらって	29	38.2%
チラシやポスターから	25	32.9%
学校の先生に教えてもらって	24	31.6%
地域の人に教えてもらって	22	28.9%
友だちに誘われて	22	28.9%
その他	2	2.6%



「その他」の記述

・SNS ・交流センターでのボランティア活動

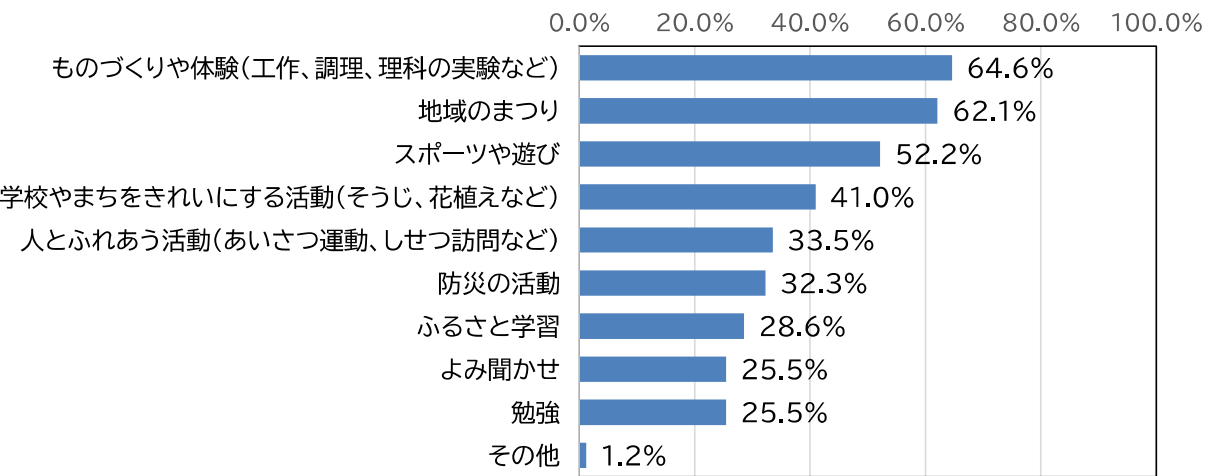
～結果の概要～

- ・地域の方との活動に参画したことのある児童生徒のきっかけは、「学校の授業で」が最も多い。学校が「ふるさと学習」や様々な体験学習の実施に当たり、地域の協力を得ながら進めていることが一因と考えられる。
- ・次いで多いのは「家の人に教えてもらって」である。活動の情報を家庭に届けることが、児童生徒の参加に一定程度有用であることが分かる。
- ・「地域の人に教えてもらって」との回答も28.9%あり、地域のつながりの中で活動の情報を広げていくことも有用と考えられる。

問6 【小学生の回答】これから、学校の中や外で地域の人と一緒にどんな活動をしてみたいです
か。

回答者 161 人 （複数回答）

	回答数	割合
ものづくりや体験(工作、調理、理科の実験など)	104	64.6%
地域のまつり	100	62.1%
スポーツや遊び	84	52.2%
学校やまちをきれいにする活動(そうじ、花植えなど)	66	41.0%
人とふれあう活動(あいさつ運動、しせつ訪問など)	54	33.5%
防災の活動	52	32.3%
ふるさと学習	46	28.6%
よみ聞かせ	41	25.5%
勉強	41	25.5%
その他	2	1.2%



「その他」の記述

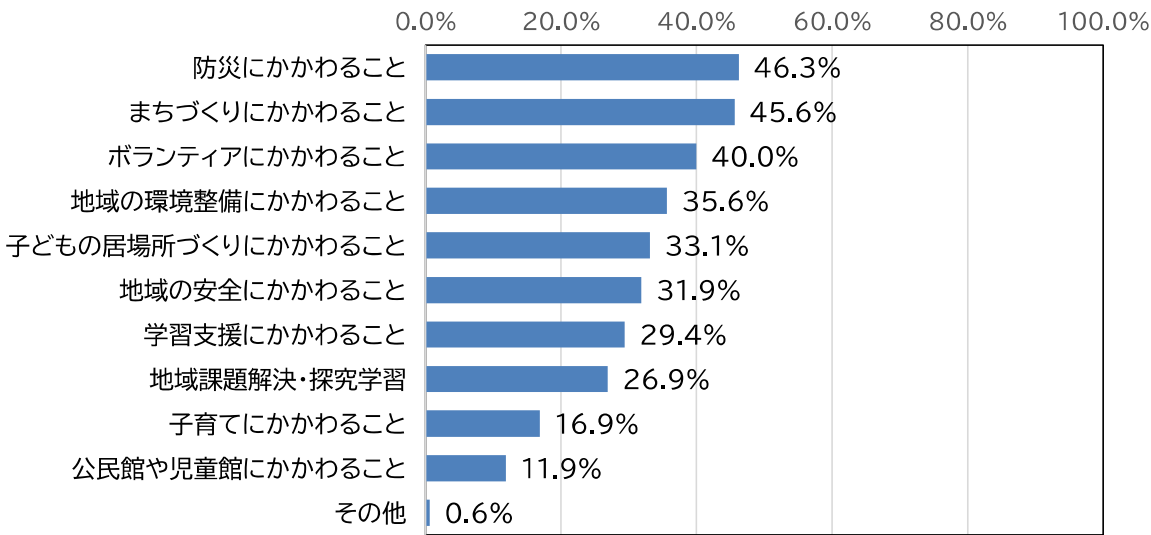
・新しいイベントを企画する。 ・特にしたいことがない。

～結果の概要～
・小学生がしてみたい活動の上位は、「ものづくりや体験(工作、調理、理科の実験など)」、「地域のお祭り」、「スポーツや遊び」である。驚きや発見の喜びのある活動が好まれると考えられる。
・次いで多いのは、「学校やまちをきれいにする活動(そうじ、花植えなど)」、「人とふれあう活動(あいさつ運動、しせつ訪問など)」、「防災の活動」である。学校や地域に貢献する活動に、興味・関心のある児童が相当数あることが分かる。

問6 【中高生の回答】今後、学校の中や外で地域の人と一緒にどんな活動をしてみたいですか。
または、どんなことを学んでみたいですか。

回答者 160 人 （複数回答）

	回答数	割合
防災にかかわること	74	46.3%
まちづくりにかかわること	73	45.6%
ボランティアにかかわること	64	40.0%
地域の環境整備にかかわること	57	35.6%
子どもの居場所づくりにかかわること	53	33.1%
地域の安全にかかわること	51	31.9%
学習支援にかかわること	47	29.4%
地域課題解決・探究学習	43	26.9%
子育てにかかわること	27	16.9%
公民館や児童館にかかわること	19	11.9%
その他	1	0.6%



「その他」の記述

・小・中学生弓道大会の運営

～結果の概要～
・地域の人と一緒にしてみたい活動の上位は、「防災にかかわること」、「まちづくりにかかわること」である。自分の地域に貢献する活動に興味・関心があると考えられる。
・次いで多いのが「ボランティアにかかわること」であり、地域のため、人のために何か行動したいと考えている生徒がいることが分かる。

読書に関するアンケート

文化伝承課

1. アンケート調査の目的

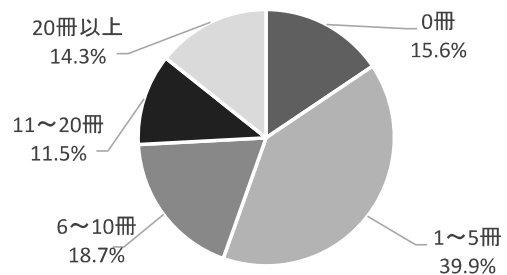
岐阜県の子どもの読書活動状況を把握し、「岐阜県子どもの読書活動推進計画(第五次)」の進行管理に役立てるため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 あなたは5月の1か月間に本を何冊ぐらい読みましたか？借りて読んだ本も入れてください
(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌やふろくを除く)。

※1冊も読んでいない人は「0」と書いてください。

	人数	割合
0冊	50	15.6%
1～5冊	128	39.9%
6～10冊	60	18.7%
11～20冊	37	11.5%
20冊以上	46	14.3%
計	321	100.0%



【校種別】	平均冊数	不読率
小学生	16.6冊	7.5%
1～3年	16.8冊	6.4%
4～6年	16.3冊	8.4%
中学生	7.5冊	16.9%
高校生	3.0冊	31.2%

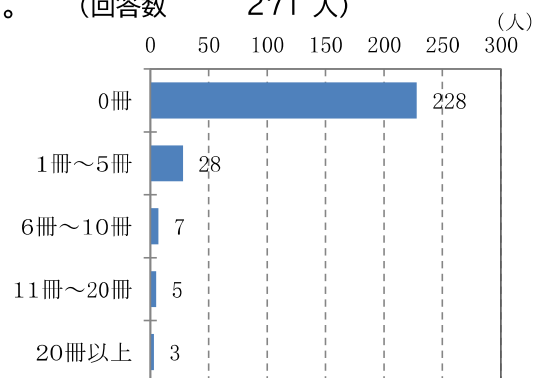
～結果の概要～

1か月に読む本の冊数としては、1～5冊が一番多く、4割を占めた。
各校種の平均冊数は昨年度の全国調査よりもいずれも上回っている。(2024年度学校読書調査では小学生(4～6年生)13.8冊、中学生4.1冊、高校生1.7冊)

問2 上の質問で答えた冊数のうち、電子書籍は何冊読みましたか？

※1冊も読んでいない人は「0」と書いてください。 (回答数 271 人)

	回答数	割合
0冊	228	84.1%
1冊～5冊	28	10.3%
6冊～10冊	7	2.6%
11冊～20冊	5	1.8%
20冊以上	3	1.1%
計	271	100.0%

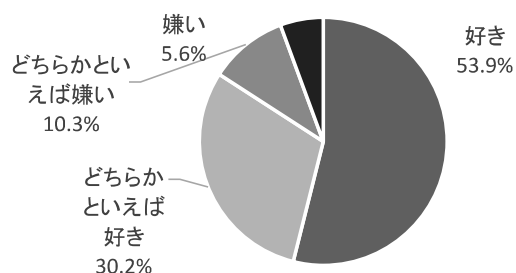


～結果の概要～

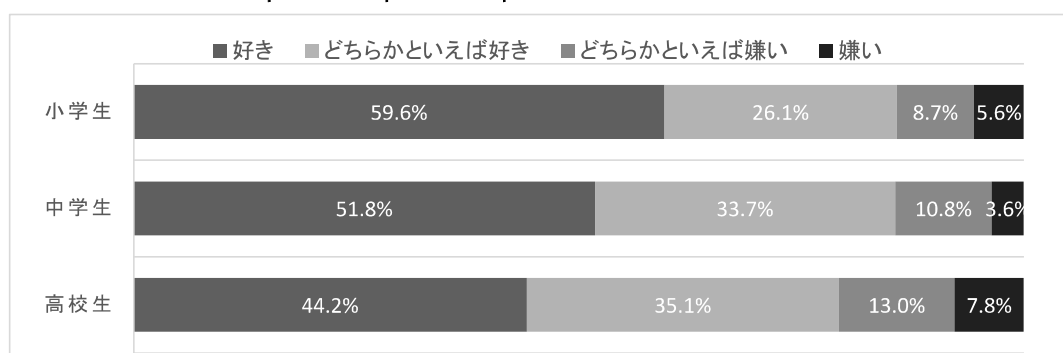
電子書籍での読書はほとんど普及していないが、全ての校種・学年で電子書籍を利用する児童生徒はいる。

問3 読書は好きですか？あてはまるものをひとつ選んでください。

	回答数	割合
好き	173	53.9%
どちらかといえば好き	97	30.2%
どちらかといえば嫌い	33	10.3%
嫌い	18	5.6%
計	321	100.0%



【校種別】	小学生	中学生	高校生
好き	59.6%	51.8%	44.2%
どちらかといえば好き	26.1%	33.7%	35.1%
どちらかといえば嫌い	8.7%	10.8%	13.0%
嫌い	5.6%	3.6%	7.8%
計	100%	100%	100%

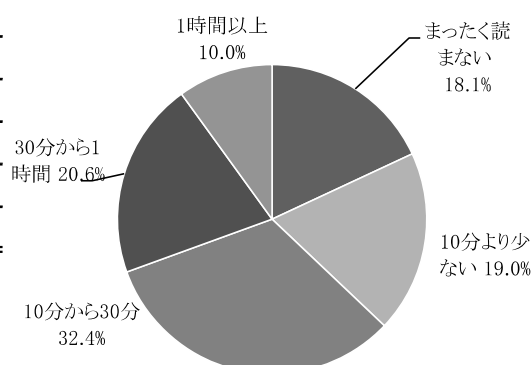


～結果の概要～

「読書が好き」または「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒は全体の8割を超えている。学年が上がるにつれて「好き」の割合が微減する傾向にある。

問4 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか？あてはまるものをひとつ選んでください。
（電子書籍も含む。教科書・学習参考書・マンガ・雑誌やふろくを除く）

	人数	割合
まったく読まない	58	18.1%
10分より少ない	61	19.0%
10分から30分	104	32.4%
30分から1時間	66	20.6%
1時間以上	32	10.0%
計	321	100%



～結果の概要～

普段の読書時間を確保している児童生徒が約8割おり、普段から読書に親しんでいる様子が分かった。その中でも10分から30分の読書時間を確保できている生徒が一番多く、3割ほどいた。まったく読まない児童生徒は2割弱おり、1か月に読んだ本が0冊の児童生徒と人数としてはほぼ同数であった。

問5 あなたが本をもっと読みたくなるためのアイデアを教えてください。(一部抜粋)

【小学生】

- ・ おともだちといっしょによむじかんがあったらいいとおもいます
- ・ 家族とおうちで本を読む時間をつくる
- ・ 自分の好きなジャンルの本をおすすめしてもらえたら読みたくなると思います
- ・ お祭りやイベント、キャンペーンをして本に親しみやすくする
- ・ 学校での読書キャンペーンがあると読みたくなる

【中学生】

- ・ 今まで読んだ本の傾向からAIが学校のタブレットなどで興味のありそうな本を提案してくれる機能が欲しい
- ・ 話題になったドラマや映画の原作本や「元気がほしいとき」のように、気分別に本をまとめて紹介してほしいです
- ・ 友達などと読んだ本の意見交換やおすすめできる場を設ける
- ・ 学校や地域の図書館の本を増やしてほしい
- ・ 本だけに集中できるための余裕をつくる

【高校生】

- ・ 授業の時間に本と関われる授業がほしい
- ・ 借りる時に自分の年齢にあったオススメの本を知りたいです
- ・ 部活や勉強で、本を読みたくても時間を取れないことが多いです。学校で読書をする時間があつたら読めるのになあと思っています
- ・ スマートフォンでSNSや動画サイトの代わりにできるだけ手軽に読書できる環境整備を行うこと

問6 あなたが学校の図書館やお家の近くの図書館をもっと使いたくなるためのアイデアを教えてください。(一部抜粋)

【小学生】

- ・ とくとき他の図書館と本を20冊位入れ替えて、いろいろな本を読めるようにする。私の近くの図書館は、少し暗いから、明るくて、みんなが来やすいような場所にすればいいと思う
- ・ 本の分類ごとにスタンプカードにスタンプが貯まる仕組みをつくる
- ・ 好きなジャンルの本のコーナーに人気ランキングとか貼り出してくれたら読みたくなる
- ・ 読み聞かせがあったり、楽しい本が紹介されていると行きたくくなります。月に1回、学校からみんなが図書館に行く日があると嬉しいです。外でお弁当を食べるのも楽しそうです
- ・ 好きな時にいけること。たくさんかいほうしてほしい。じてんしゃでいけないきよりだから、こどもがじぶんでいけるようにバスがあるといい

【中学生】

- ・ 学校の図書館を利用する時間が昼休みだけでは足りないため本を探す時間が増えればよいと思う
- ・ 学生が使いたくなる環境を整える(例えば運動ができるスペースを作る)
- ・ 並べ方や表示を工夫して、見やすいようにする
- ・ 私は自分の好きな本を新たに見つけることを目的として図書館に行っていると思うので、新刊情報をもっとわかりやすいところ(公式SNSなど)に載せるといいのではないかな、と思います
- ・ 学校の図書館では本貸りキャンペーンを作ったり公共の図書館ではいろんなジャンルの本や人気の本をいれるといいと思う

【高校生】

- ・ 面白い情報を知ることができるといいです
- ・ 学校の図書館も、土日も開館してほしい
- ・ 勉強出来る自習スペースを充実させる
- ・ 本を探しやすい図書館にする(司書さんに聞くのは緊張するから)
- ・ 高校生、大学生や仕事終わりの人たちが本を読む機会を得られるように、特定の日は早朝や深夜まで図書館を開放する

選挙に関するアンケート

選挙管理委員会事務局

1. アンケート調査の目的

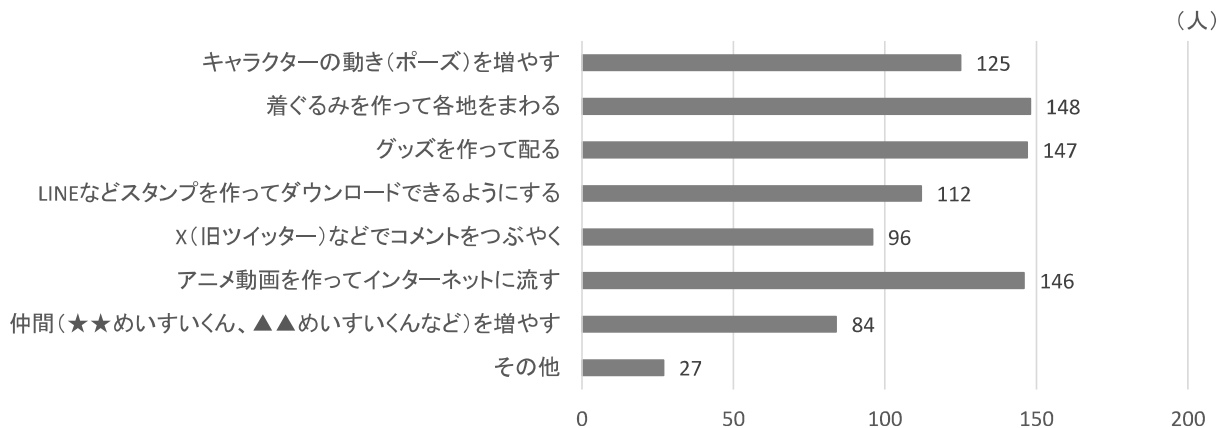
選挙の投票に行く人が減ってきている中、もっと投票に行く人を増やすための施策に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 投票に行くことを呼びかける岐阜県のイメージキャラクターは「鶺鴒めいすいくん」と「さるぼめいすいくん」です。あなたはこのキャラクターをどのように使うと、選挙や投票が、楽しく、明るくてきれいなイメージになると思いますか。

(複数回答) 回答者 321 人

	回答数	割合
キャラクターの動き(ポーズ)を増やす	125	14.1%
着ぐるみを作って各地をまわる	148	16.7%
グッズを作って配る	147	16.6%
LINEなどスタンプを作ってダウンロードできるようにする	112	12.7%
X(旧ツイッター)などでコメントをつぶやく	96	10.8%
アニメ動画を作ってインターネットに流す	146	16.5%
仲間(★★めいすいくん、▲▲めいすいくんなど)を増やす	84	9.5%
その他	27	3.1%
計	885	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・キャラクターがもっとかわいいと良い、にっこり顔や踊っているところ
- ・投票に行くことを呼びかける歌を歌ったり、ダンスを踊ったりする
- ・部活動の大会などで応援したら知名度が上がるかも、ステージイベントなどを増やす
- ・Xで面白い投稿をする、親しみやすいコメントが出るとよい

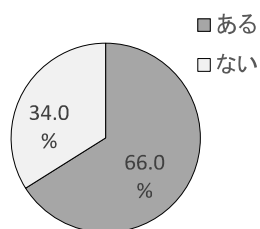
～結果の概要～

「着ぐるみを作って各地をまわる」が16.7%と最も高く、次いで「グッズを作って配る」(16.6%)、「アニメ動画を作ってインターネットに流す」(16.5%)の順となっている。

問2 あなたは家族の人などと一緒に投票所へ行ったことがありますか。

回答者 321 人

	回答数	割合
ある	212	66.0%
ない	109	34.0%
計	321	100.0%



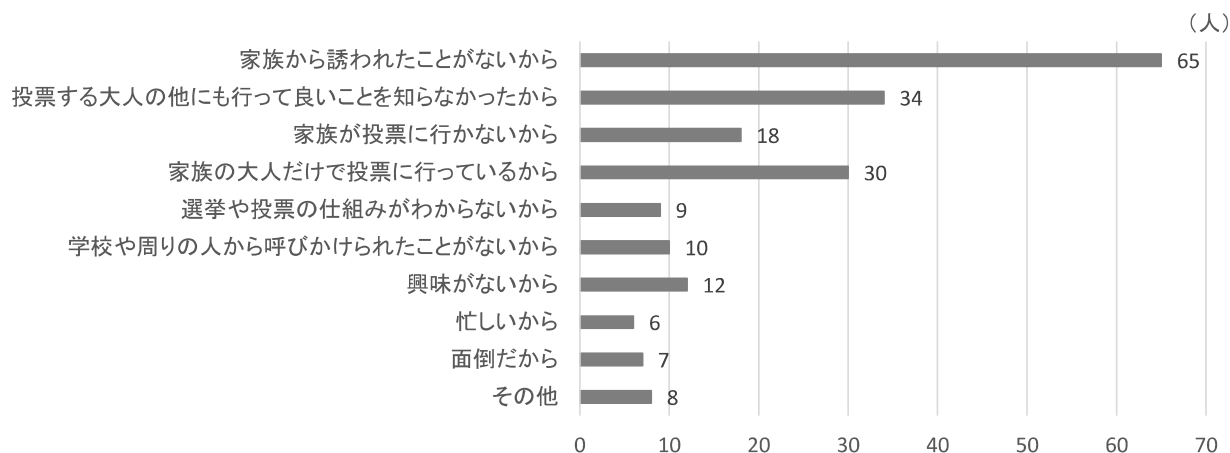
問2-1 (問2で「ない」と答えた方)

その理由に当てはまるものを、全て選んでください。

(複数回答)

回答者 109 人

	回答数	割合
家族から誘われたことがないから	65	32.7%
投票する大人の他にも行って良いことを知らなかったから	34	17.1%
家族が投票に行かないから	18	9.0%
家族の大人だけで投票に行っているから	30	15.1%
選挙や投票の仕組みがわからないから	9	4.5%
学校や周りの人から呼びかけられたことがないから	10	5.0%
興味がないから	12	6.0%
忙しいから	6	3.0%
面倒だから	7	3.5%
その他	8	4.0%
計	199	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・ 投票権が無いのに行って仕方ない
- ・ 選挙権を持っていないから、行っても投票できないから

～結果の概要～

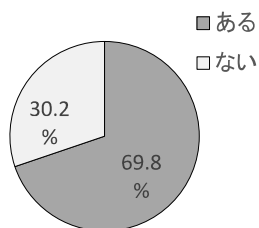
家族の人などと一緒に投票所へ「行ったことがある」が 66.0%、「行ったことがない」が 34.0%となっている。

「行ったことがない」理由について、「家族から誘われたことがないから」が 32.7%と最も高く、次いで「投票する大人の他にも行って良いことを知らなかったから」(17.1%)、「家族の大人だけで投票に行っているから」(15.1%)の順となっている。

問3 あなたはこれまでに、街頭で投票に行く呼びかけを見たり聞いたりしたことがありますか？

回答者 321 人

	回答数	割合
ある	224	69.8%
ない	97	30.2%
計	321	100.0%

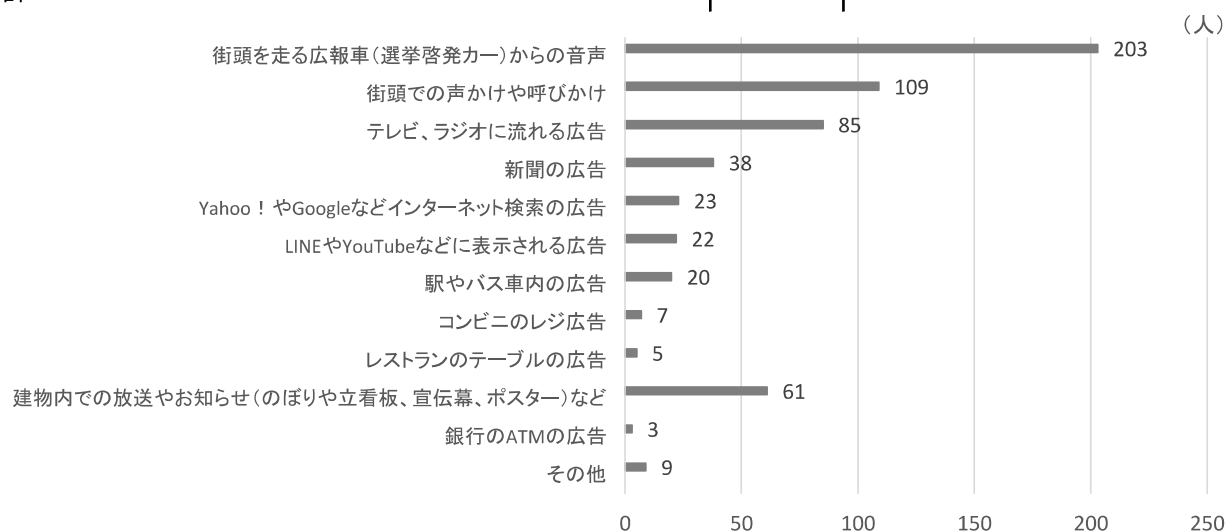


問3-1（問3で「ある」と答えた方）

見たり聞いたりしたものを全て選んでください。（複数回答）

回答者 224 人

	回答数	割合
街頭を走る広報車(選挙啓発カー)からの音声	203	34.7%
街頭での声かけや呼びかけ	109	18.6%
テレビ、ラジオに流れる広告	85	14.5%
新聞の広告	38	6.5%
Yahoo! やGoogleなどインターネット検索の広告	23	3.9%
LINEやYouTubeなどに表示される広告	22	3.8%
駅やバス車内の広告	20	3.4%
コンビニのレジ広告	7	1.2%
レストランのテーブルの広告	5	0.9%
建物内での放送やお知らせ(のぼりや立看板、宣伝幕、ポスター)など	61	10.4%
銀行のATMの広告	3	0.5%
その他	9	1.5%
計	585	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・ 友だちの書いたポスターを学校で見た
- ・ 地域の放送で聞いた
- ・ 広報誌で見た

～結果の概要～

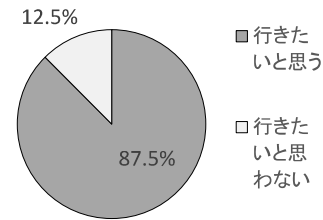
街頭で投票に行く呼びかけを「見たり聞いたりしたことがある」が 69.8%、「見たり聞いたりしたことがない」が 30.2%となっている。

「見たり聞いたりしたことがある」ものについて、「街頭を走る広報車(選挙啓発カー)からの音声」が 34.7%と最も高く、次いで「街頭での声掛けや呼びかけ」(18.6%)、「テレビ、ラジオに流れる広告」(14.5%)の順となっている。

問4 18歳になると投票できるようになりますが、あなたは将来、投票に行きたいと感じていますか？

回答者 321 人

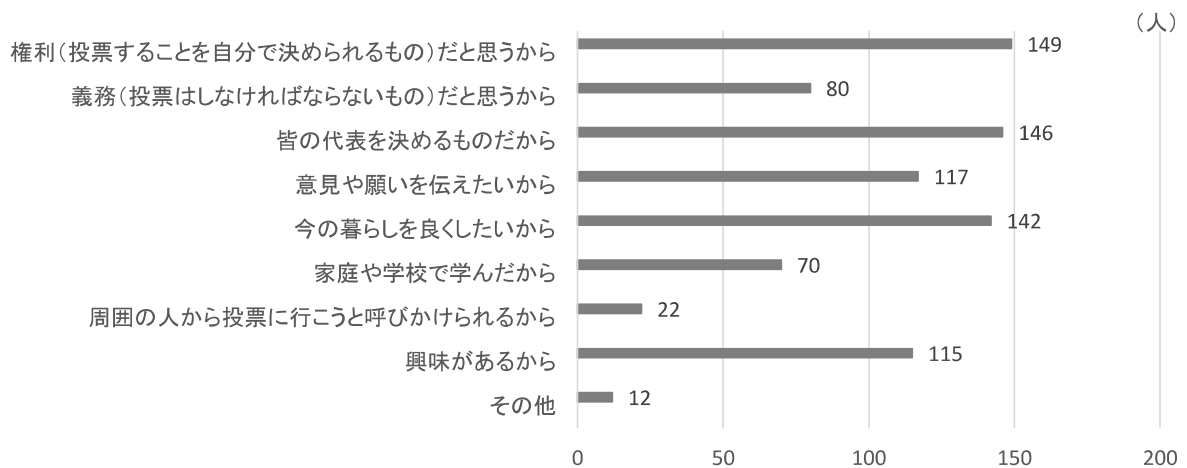
	回答数	割合
行きたいと思う	281	87.5%
行きたいと思わない	40	12.5%
計	321	100.0%



問4-1 (問4で「行きたいと思う」と答えた方)
その理由に当てはまるものを全て選んでください。

(複数回答) 回答者 281 人

	回答数	割合
権利(投票することを自分で決められるもの)だと思うから	149	17.5%
義務(投票はしなければならないもの)だと思うから	80	9.4%
皆の代表を決めるものだから	146	17.1%
意見や願いを伝えたいから	117	13.7%
今の暮らしを良くしたいから	142	16.6%
家庭や学校で学んだから	70	8.2%
周囲の人から投票に行こうと呼びかけられるから	22	2.6%
興味があるから	115	13.5%
その他	12	1.4%
計	853	100.0%



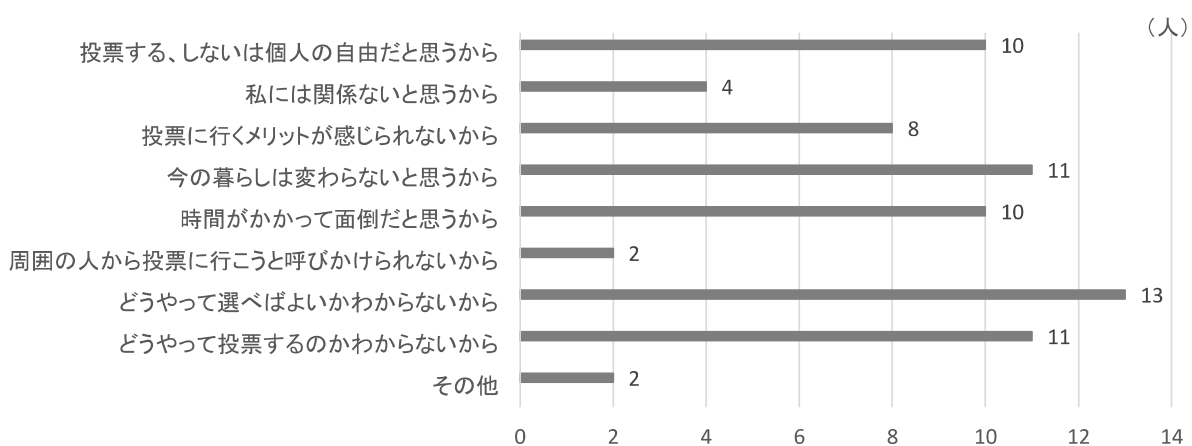
「その他」のうち主なもの

- ・ 楽しそうだから
- ・ 岐阜県を支えてくれる人はみんなで決めるべきだと思うから
- ・ 日本が良くなってほしいから、自分が住んでいるところについて考える良い機会だから

問4－2（問4で「行きたいと思わない」と答えた方）
その理由に当てはまるものを全て選んでください。

（複数回答） 回答者 40 人

	回答数	割合
投票する、しないは個人の自由だと思うから	10	14.1%
私には関係ないと思うから	4	5.6%
投票に行くメリットを感じられないから	8	11.3%
今の暮らしは変わらないと思うから	11	15.5%
時間がかかって面倒だと思うから	10	14.1%
周囲の人から投票に行こうと呼びかけられないから	2	2.8%
どうやって選べばよいかわからないから	13	18.3%
どうやって投票するのかかわからないから	11	15.5%
その他	2	2.8%
計	71	100.0%



「その他」のうち主なもの

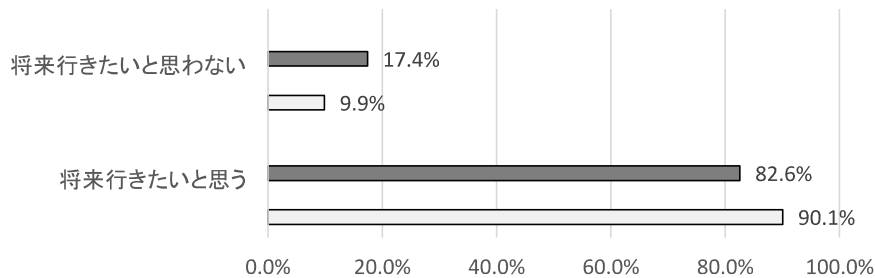
- ・ 興味がないから、まだ選挙の意味がわからない
- ・ 恥ずかしい

参考 問2「家族の人などと一緒に投票所へ行ったこと」の有無と、問4「将来、投票に行きたいと感じている」ことの有無との関係性について

(クロス集計) 回答者 321 人

		問2	
		家族と行ったことがある	家族と行ったことがない
問	将来行きたいと思う	191 (90.1%)	90 (82.6%)
4	将来行きたいと思わない	21 (9.9%)	19 (17.4%)
計		212 (100%)	109 (100.0%)

上段: 家族と行ったことがない
下段: 家族と行ったことがある



～結果の概要～

将来、投票に「行きたいと思う」が 87.5%、「行きたいと思わない」が 12.5%となっている。

「行きたいと思う」理由について、「権利だと思うから」が 17.5%と最も高く、次いで「皆の代表を決めるものだから」(17.1%)、「今の暮らしを良くしたいから」(16.6%)の順となっている。

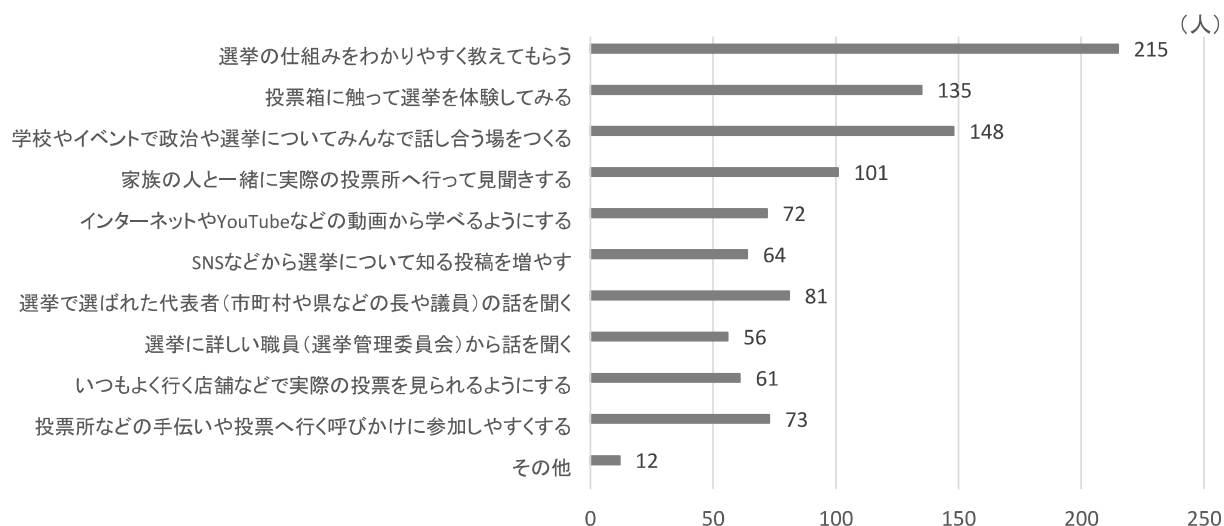
「行きたいと思わない」理由について、「どうやって選べばよいかわからないから」が 18.3%と最も高く、次いで「今の暮らしは変わらないと思うから」と「どうやって投票するのかかわからないから」(15.5%)の順となっている。

家族の人などと一緒に投票所へ「行ったことがあり」、将来、投票に「行きたいと思う」(90.1%)は、家族の人などと一緒に投票所へ「行ったことがなく」、将来、投票に「行きたいと思う」(82.6%)に比べて、7.5ポイント高い。

問5 あなたはということがあれば、普段から選挙を身近に感じると感じますか？

(複数回答) 回答者 321 人

	回答数	割合
選挙の仕組みをわかりやすく教えてもらう	215	21.1%
投票箱に触って選挙を体験してみる	135	13.3%
学校やイベントで政治や選挙についてみんなで話し合う場をつくる	148	14.5%
家族の人と一緒に実際の投票所へ行って見聞きする	101	9.9%
インターネットやYouTubeなどの動画から学べるようにする	72	7.1%
SNSなどから選挙について知る投稿を増やす	64	6.3%
選挙で選ばれた代表者(市町村や県などの長や議員)の話を聞く	81	8.0%
選挙に詳しい職員(選挙管理委員会)から話を聞く	56	5.5%
いつもよく行く店舗などで実際の投票を見られるようにする	61	6.0%
投票所などの手伝いや投票へ行く呼びかけに参加しやすくする	73	7.2%
その他	12	1.2%
計	1018	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・ 家から投票できる
- ・ YouTubeで面白い動画が見える
- ・ 学校の代表を選ぶときに、本物の選挙と同じ仕組み、やり方にする
- ・ 選挙とはどういうものか、分かりやすく説明したり体験する会をつくる
- ・ 選挙に行くことによる変化を体感できるようにする

～結果の概要～

「選挙の仕組みをわかりやすく教えてもらう」が 21.1%と最も高く、次いで「学校やイベントで政治や選挙についてみんなで話し合う場をつくる」(14.5%)、「投票箱に触って選挙を体験してみる」(13.3%)の順となっている。

問6 選挙についての意見や投票する人を増やすためのアイデアがあれば教えてください。

(主な意見)

《選挙についての意見》

○選挙の仕組みについて

- ・ 名前しか分からないため、選挙カーは止める
- ・ 選挙の様子を見るとお互いのマイナスなところを言い合ったり、投票所も怖いイメージがあった
- ・ 興味はあるのに言葉が難しくて理解できない
- ・ 名前と顔だけのポスターをよく見かけるが、結局何なのかよくわからない
- ・ 選挙についてわからないことが多く、選挙に行くのが不安

○候補者、政治について

- ・ いろんな歳の人が自分のためにやってくれると思えるように、年代別に公約を出してほしい
- ・ おじさんばかりで、難しい話だからよく分からない
- ・ 選挙で社会が変わることを、小さいころから学んでおくとうい
- ・ 選挙に行ったところで何も変わらないと思う人が多く、そこを変える必要があると思う
- ・ 誰が何をどうしたいのか、どうしてくれるのか一覧で見たい
- ・ 昨今の政治の不透明さが、選挙に行かない人を増やす原因になっているのではないかと思う

《投票する人を増やすためのアイデア》

○動機付け

- ・ お土産をくれる、お菓子やジュースを配る、特典をつける、おまけがもらえる
- ・ 岐阜県なら飛騨牛や岐阜枝豆など、県の美味しい食べ物をもらえる
- ・ 図書カードがもらえる、文房具や絆創膏などを渡す、イメージキャラクターのグッズがもらえる
- ・ ポイントがついて貯まったら、市の何かあったらいいなものに貢献できる
- ・ クーポンを配る、お店の割引チケットをもらえる、飲食店で特別メニューが注文できるようにする
- ・ 投票を義務化する、罰を与える

○投票の環境づくり

- ・ スーパーやコンビニ、駅などよく行く場所や多くの人が行く場所で投票できるようにする
- ・ 投票所に行かなくても、家から、携帯・インターネットで投票できるようにする
- ・ タブレットの投票にして、簡単にスムーズに投票できるようにする
- ・ 期日前投票日から投票日当日までバスを無料にし、大々的に宣伝する
- ・ 働いている人のために24時間投票できるようにする

○投票の雰囲気づくり

- ・ まず、周りの大人のひとやお母さん、お父さんに呼びかければよいと思う
- ・ 人が集まりやすいところで投票の呼びかけをする
- ・ もっと明るく楽しいと思えるような活動の仕方や場所づくりができればよい
- ・ 人気ユーチューバーが選挙に行こうと呼びかけたら行く
- ・ 授業内で楽しく選挙について学ぶことができれば、投票する人が増えると思う
- ・ 学校の授業で選挙ごっこをすると身近に感じると思う、模擬投票を学校で体験するとよい
- ・ 海外で行われているように、駅付近に選挙ブースなどを設置し、年代問わず誰もが気軽に政治について話し合えるような場を設ける
- ・ 選挙啓発ポスターコンクールに参加しており、未成年でも選挙に関われる気がして嬉しかった